

愛は食卓にある。

kewpie 

2024年度上期 決算説明資料

キューピー株式会社2024年7月4日

年間最高益を見込む進捗

上期決算の ポイント

海外

- 中期経営計画の経営指標である売上高伸長率 + 10%を上回る + 19%
- 利益構成比は 3 割超まで上昇
- 中国に続き、東南アジア、北米も海外展開の柱に

タマゴ

- 収益性が大幅改善
- 鳥インフルエンザからの販売回復、付加価値化、価格改定の浸透

調味料

- 新価格の定着と主原料影響の緩和により、収益力回復
- 基幹商品の再強化、付加価値品の拡大が進む

さらなる成長への布石を打つ

下期の 展望

海外

- 各リージョンでの供給能力増強に備え、ブランディング・マーケティングを強化
- 北米、タイ、インドネシアで供給能力を増強(2025年度稼働予定)
- オーストラリアに販社、北米に統括会社を設立

未来投資

- 基盤強化と新領域開拓
- 人的資本、ブランド、研究/技術開発、IT・デジタル、サステナビリティ

愛は食卓にある。



1. 2024年度上期業績
2. 2024年度業績見通し
3. 上期の取り組みと下期の展望
4. 参考資料

本資料の記載について

- 本資料における記載金額は、億円表示の場合は億円未満を四捨五入しています。
- 海外の数値は、10月-9月が対象となり、日本からの輸出を含んでいます。
なお、日本からの輸出は12月-11月が対象となります。
- 海外の2024年度上期の前年差の合計には、為替影響（売上高+27億円、営業利益+4億円）が含まれます。2024年度通期計画の前年差の合計には、為替影響（売上高+70億円、営業利益+10億円）が含まれます。

愛は食卓にある。



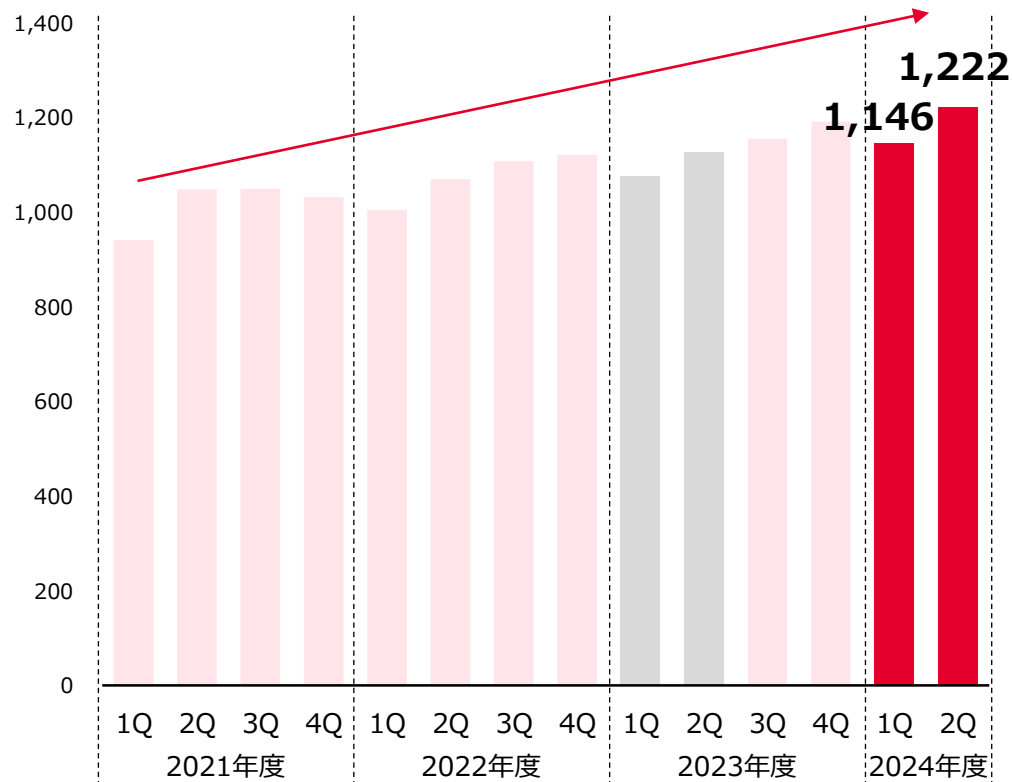
1. 2024年度上期業績

売上高

2,368億円

増収 (+165億円)
増減率 **+7%**増

- 海外の2桁成長持続により増収
- 調味料の新価格の定着により増収
- タマゴ販売増加、価格改定の浸透により増収

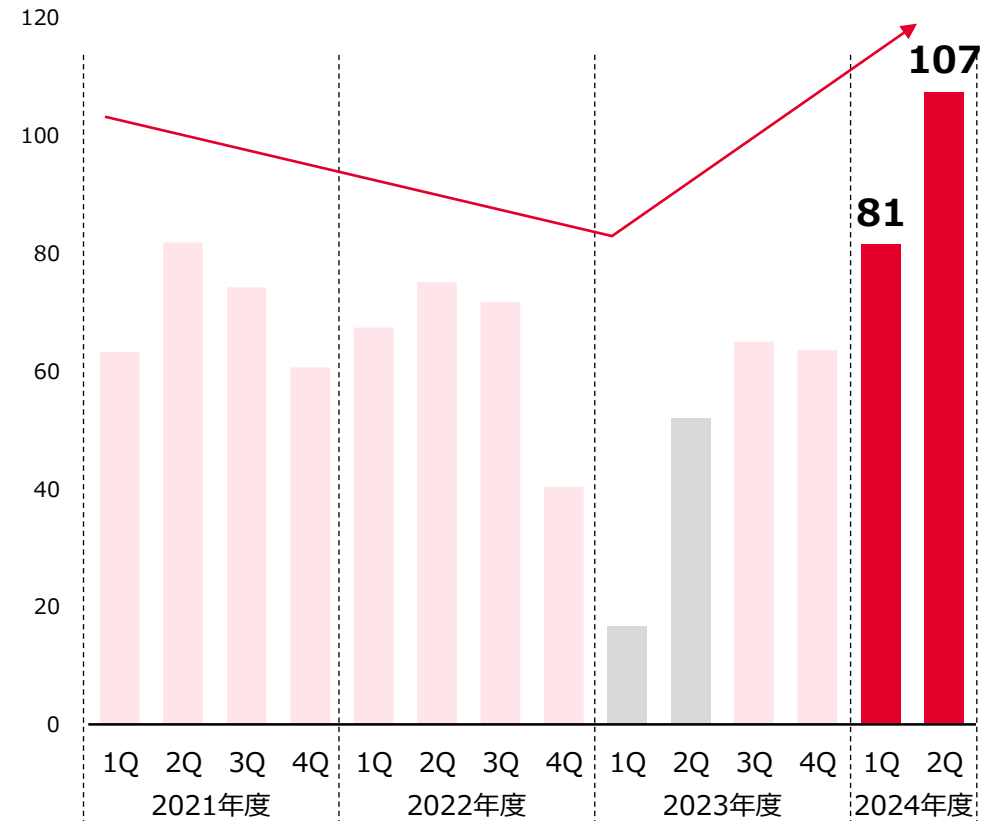


営業利益

189億円

増益 (+120億円)
増減率 **+176%**増

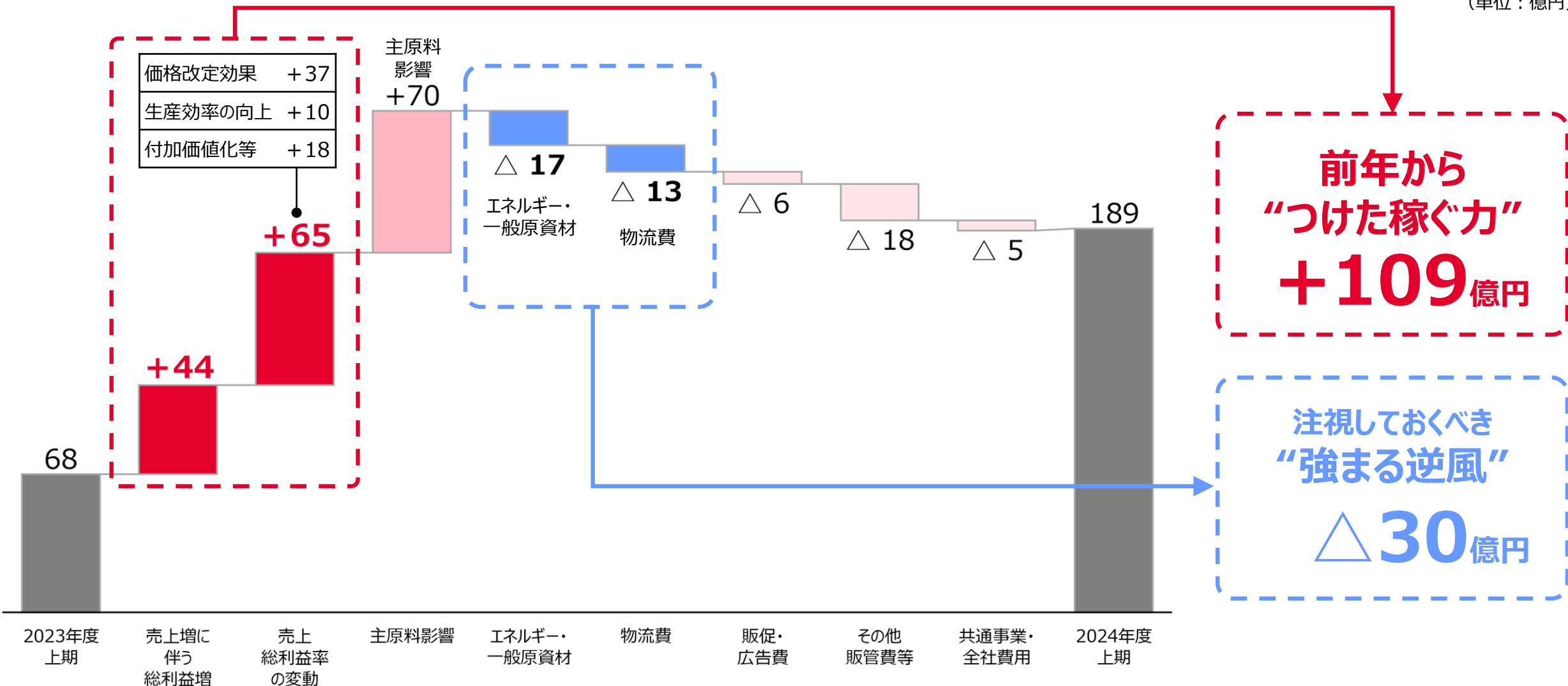
- 海外は売上成長に伴い事業利益が約2倍に拡大
- 調味料は価格改定効果と主原料高騰緩和により利益回復
- タマゴは価格改定効果と加工品の伸長により増益



営業利益

2024年度上期 **189**億円 前年差 **+120**億円

(単位：億円)



(単位：億円)

売上高

2024年度上期

2,368億円

前年差

+165億円

増減率

+7%

	2023年度 上期	2024年度 上期	前年差	増減率	1Q 前年差	2Q 前年差
市販用	872	924	+51	+6%	+26	+25
業務用	814	833	+18	+2%	△11	+29
海外	344	437	+93	+27%	+53	+40
フルーツ ソリューション	83	87	+4	+5%	+0	+4
ファインケミカル	57	59	+2	+3%	△0	+2
共通	33	29	△4	△11%	+1	△5

事業利益

2024年度上期

189億円

前年差

+120億円

増減率

+176%

	2023年度 上期	2024年度 上期	前年差	増減率	1Q 前年差	2Q 前年差
市販用	44	81	+36	+82%	+19	+17
業務用	14	64	+50	+369%	+26	+24
海外	35	74	+40	+114%	+24	+16
フルーツ ソリューション	2	1	△1	△27%	△1	+0
ファインケミカル	△1	△2	△1	—	△1	+1
共通	7	6	△1	△16%	△1	△0
全社費用	△32	△36	△3	—	△1	△2

(単位：億円)

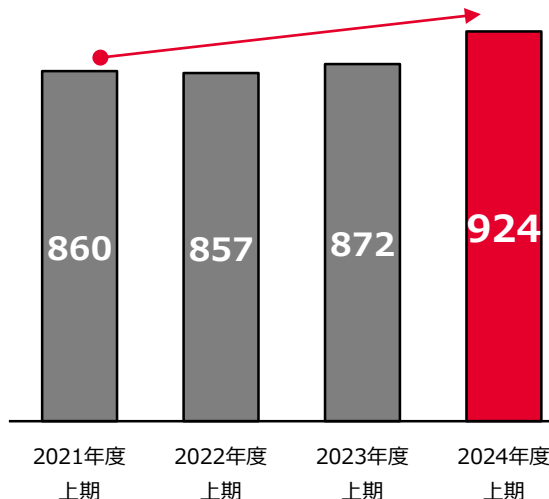
売上高

2024年度上期 **924億円**

前年差 **+51億円**

増減率 **+6%**

2021-2024年度 中期経営計画



**調味料の新価格の定着による単価上昇や
惣菜の販売回復などにより増収**

	2024年度 上期	前年差	増減率	1Q 前年差	2Q 前年差
調味料	388	+21	+6%	+14	+8
惣菜	325	+20	+7%	+11	+10
カット野菜	135	+6	+5%	+1	+6

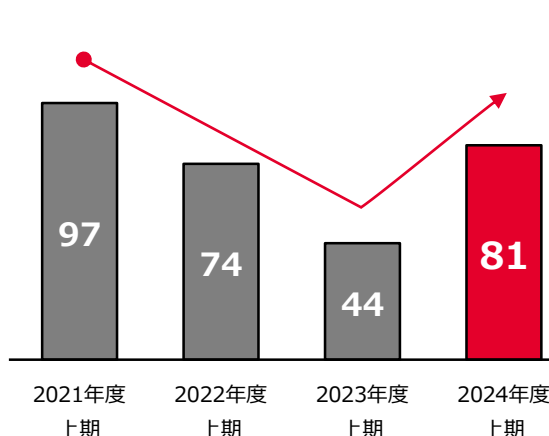
事業利益

2024年度上期 **81億円**

前年差 **+36億円**

増減率 **+82%**

2021-2024年度 中期経営計画



**調味料の価格改定効果や主原料影響の緩和による増益
調味料・惣菜の基幹商品拡大による増益**

	2024年度 上期	前年差	増減率	1Q 前年差	2Q 前年差
調味料	56	+30	+117%	+15	+15
惣菜	19	+7	+61%	+5	+2
カット野菜	4	+1	+23%	△0	+1

(単位：億円)

売上高

2024年度上期

833億円

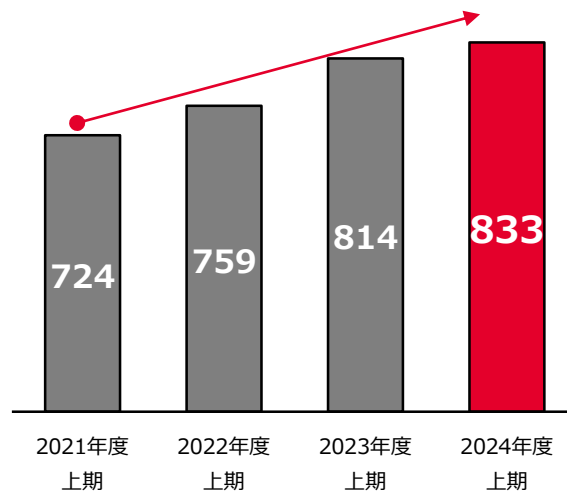
前年差

+18億円

増減率

+2%

2021-2024年度 中期経営計画



**調味料・タマゴの価格改定による単価上昇や
外食需要の回復、タマゴ供給の回復により増収**

	2024年度 上期	前年差	増減率	1Q 前年差	2Q 前年差
調味料	259	+17	+7%	+14	+3
タマゴ	491	+2	+0%	△26	+27

事業利益

2024年度上期

64億円

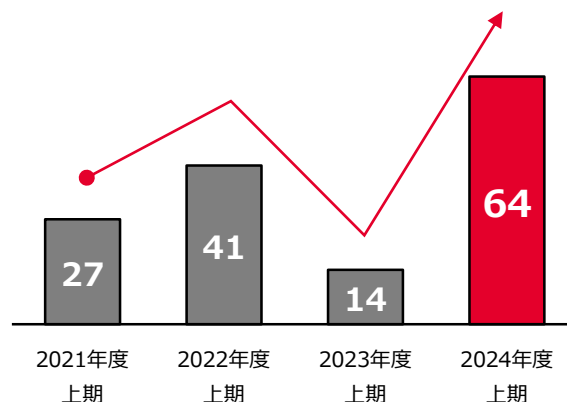
前年差

+50億円

増減率

+369%

2021-2024年度 中期経営計画



**調味料・タマゴの価格改定効果による増益
主原料影響の緩和や付加価値品拡大により増益**

	2024年度 上期	前年差	増減率	1Q 前年差	2Q 前年差
調味料	20	+11	+116%	+6	+5
タマゴ	39	+35	+926%	+17	+17

(単位：億円)

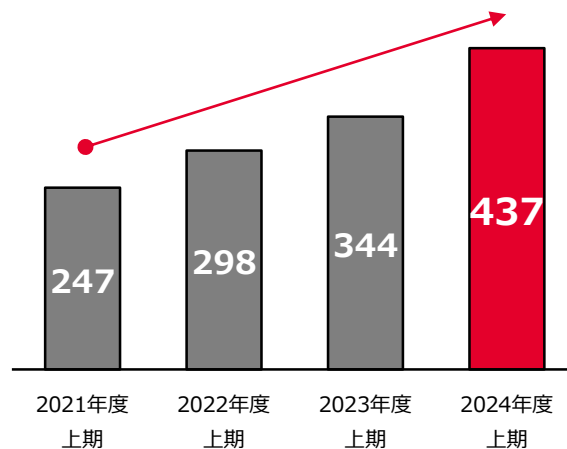
売上高

2024年度上期 **437億円**

前年差 **+93億円**

増減率 **+27%**

2021-2024年度 中期経営計画



中国・北米・東南アジアが想定を上回る伸長により増収

	2024年度上期	前年差	増減率	1Q前年差	2Q前年差
中国	163	+32	+24%	+19	+13
東南アジア	125	+22	+22%	+13	+9
北米	101	+27	+36%	+13	+14

※為替影響 売上高(前年差)+27億円

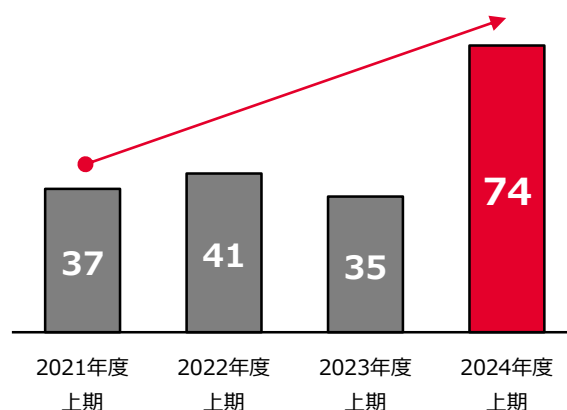
事業利益

2024年度上期 **74億円**

前年差 **+40億円**

増減率 **+114%**

2021-2024年度 中期経営計画



**中国ゼロコロナ施策からの市場回復や
北米のブランド品拡大により増益
中国に続き、東南アジア・北米も海外展開の柱に**

	2024年度上期	前年差	増減率	1Q前年差	2Q前年差
中国	24	+17	+234%	+10	+7
東南アジア	20	+7	+59%	+4	+3
北米	18	+10	+126%	+5	+5

※為替影響 事業利益(前年差)+4億円

(単位：億円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	上期 前年差	上期 増減率	2023年度	2024年度 計画 (4/5公表)
売上高	2,204	2,368	+165	+7%	4,551	4,800
営業利益	68	189	+120	+176%	197	310
営業利益率(%)	3.1%	8.0%	+4.9%	—	4.3%	6.5%
経常利益	76	203	+128	+169%	205	322
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	48	125	+77	+161%	132	174
海外売上高伸長率(%) (現地通貨ベース)	+4%	+19%	+15%	—	+10%	+14%
米国ドル(円)	137	148	+11	—	139	148
人民元(円)	20	21	+1	—	20	20
ローリー相場(円/kg)	414	353	△61	—	390	352
鶏卵相場(円/kg)	323	208	△115	—	309	226



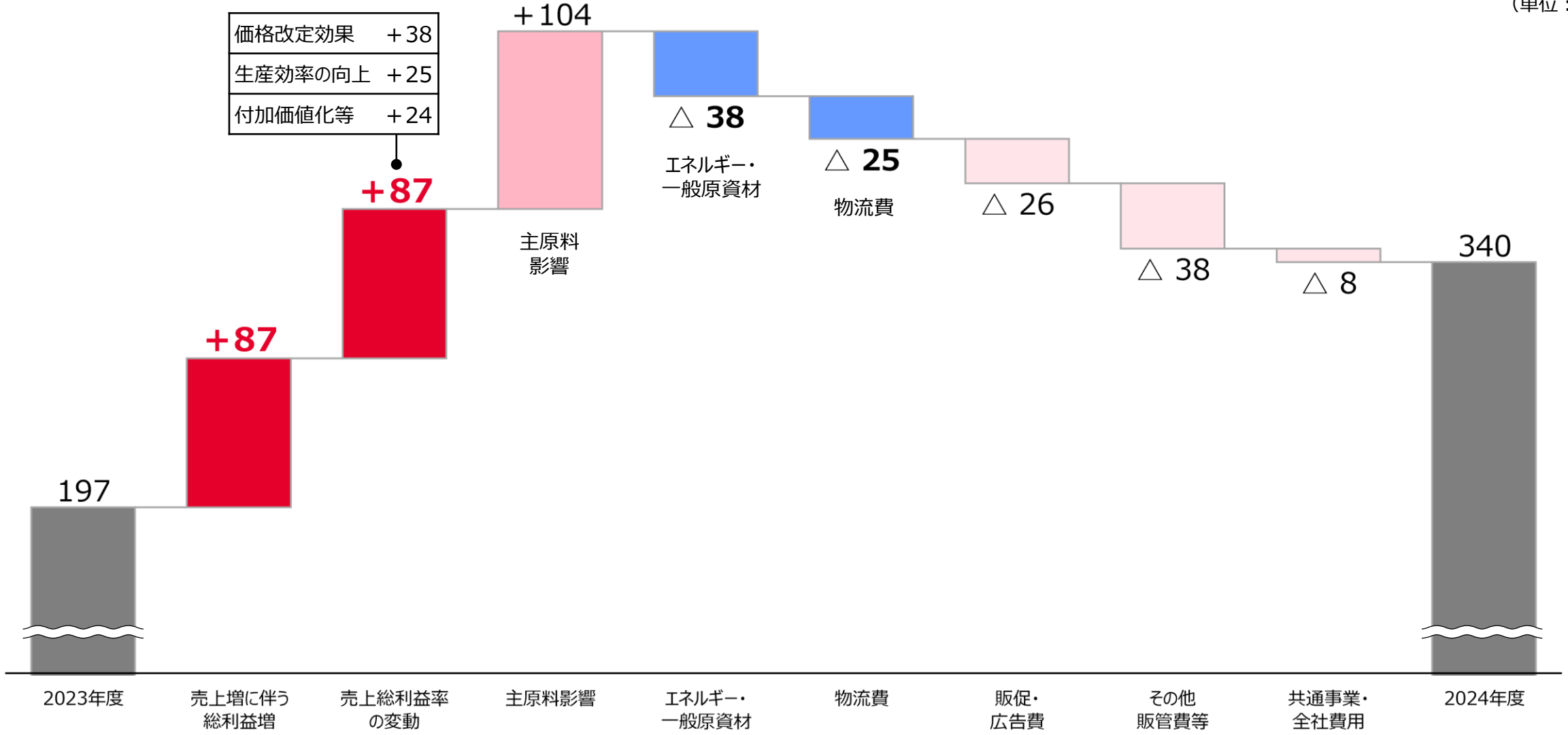
2.2024年度業績見通し

(単位：億円)

	2023年度	2024年度 計画 (4/5公表)	2024年度 修正計画	前年差	旧計画差
売上高	4,551	4,800	4,860	+ 309	+ 60
営業利益	197	310	340	+ 143	+ 30
営業利益率(%)	4.3%	6.5%	7.0%	+ 2.7%	+ 0.5%
経常利益	205	322	361	+ 156	+ 39
親会社株主に帰属する 当期純利益	132	174	207	+ 75	+ 33
ROE(%)	4.8%	6.1%	7.2%	+ 2.4%	+ 1.1%
EPS(円)	94.78	125.18	148.92	+ 54.14	+ 23.74
海外売上高伸長率(%) (現地通貨ベース)	+ 10%	+ 14%	+ 10%	—	△4%
米国ドル(円)	139	148	153	+ 14	+ 5
人民元(円)	20	20	21	+ 1	+ 1
ローリー相場(円/kg)	390	352	352	△38	—
鶏卵相場(円/kg)	309	226	226	△83	—

営業利益 2024年度計画 **340**億円(上期：189億円 下期：151億円) 前年差 **+143**億円

(単位：億円)



価格改定効果	+38
生産効率の向上	+25
付加価値化等	+24

2021-2024年度
中期経営計画方針

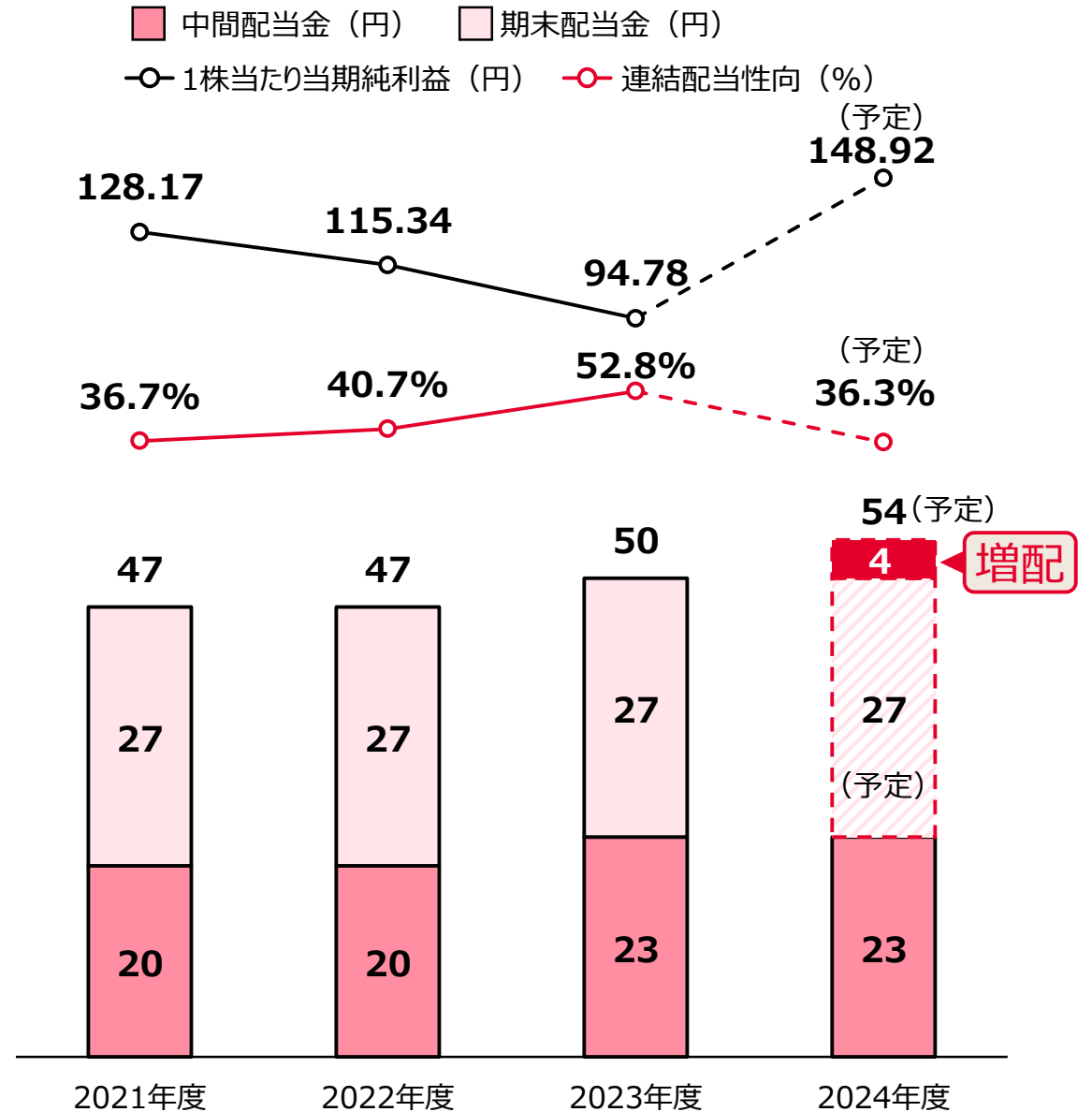
連結配当性向**35%以上**
4年間累計の
総還元性向**50%以上**

- 業績修正に伴い期末配当予想額の見直し

年初予定より4円増配予定

- 4年間累計の総還元性向55%を予定

* 2021年度自己株式取得100億円実施





3. 上期の取り組みと下期の展望

海外成長

世界戦略商品に集中

ブランド事業の拡大

食文化に適したローカル対応

国内高質化

付加価値化

SCM最適化

市場開拓

サステナビリティ

プラスチックの削減・再利用

食品ロスの削減・有効活用

CO₂排出量の削減

新たな価値を創出し、再成長のステージへ

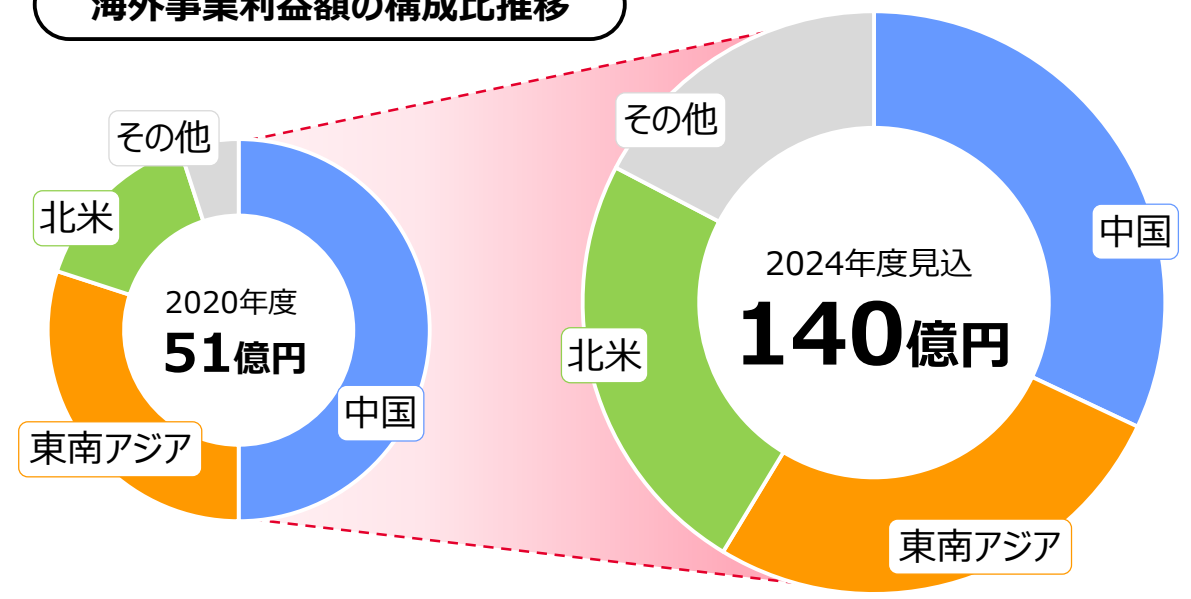
KEWPIEブランド価値向上による収益力の強化

北米・東南アジアでも 世界戦略商品の拡大



各リージョンの収益力強化

海外事業利益額の構成比推移



ブランド事業の拡大によりリージョンごとの
収益力が増大（バランス経営）

さらなる成長へブランディング・マーケティング強化

将来の需要増に対応した供給能力増強へ投資



Q&B FOODS
テネシー工場新設 2025年5月稼働



92億円

キューピータイランド
新棟増設 2025年1月稼働



29億円

キューピーインドネシア
生産ライン増設 2024年12月稼働



32億円

各工場画像は完成イメージ図です

販売体制の強化

KEWPIE AMERICAS, INC. 設立
(統括会社)
ブランディング・マーケティング強化
※ KIFUKI USA から社名変更 2023年12月

**キューピーオーストラリア設立による
豪州市場深耕** (2024年8月営業開始)

**インドネシア国内の深耕
ミニマートでの中間層取り込み強化**

**インド駐在事務所の開設を予定
新たな地域への挑戦**

基幹商品強化と付加価値品の拡大で国内調味料を高質化

環境変化への対応

- カテゴリ物量も伸ばしつつ**新価格の定着**
- コスト競争力を保つ**オイル低減商品開発**

マヨネーズの
単価アップ率



基幹商品の再強化

- ドレッシング容量施策による**ポートフォリオ強化**
- 深煎りごまの**汎用調味料化**



付加価値品の拡大

- **グループの強み**を掛け合わせた商品開発
→ 具たくさんレモンタルタルのヒット
- 人手不足ニーズの解消
→ かけるだけで**メニュー価値向上**



これからの取り組み

**“開発から育成の仕組み”
を刷新**

営業組織変更
マーケティング機能と
市場対応力の強化

メニュー領域の拡大

サラダ以外の用途へ
生鮮販路拡大

鳥インフルエンザ影響からの回復と需要拡大

安定供給の仕組みづくり

- 国内鶏卵調達先の分散化、適正在庫数量のコントロール
- 行政や産業との連携

ニーズを捉えた付加価値品拡大

- 人手不足対応やインバウンドによるホテル需要増
- 外食市場に向けたメニュー価値向上



スクランブルエッグ

目玉焼き

市場連動による価値創造

- 「キューピーのたまご」ブランドの認知拡大
- 新たな商品で需要の掘り起こし



これからの取り組み

加工品への
シフト加速

生産体制最適化と
能力増強投資

サプライチェーン全体で効率化・省力化を推進

SCM取り組み効果

2024年度上期	+6億円
2024年度下期	+7億円
2024年度予想	+13億円

- 主要原料グローバル調達
- 原料・資材のシンプル化
- 生産拠点の再編
- 自動化・ロボット化
- 食品ロスの低減

研究開発

調達

生産

物流

販売

業界一丸となり“持続可能な物流モデル”を

2024年物流問題への対応

他社との共同輸配送 (一例)

商品ミックスで積載効率を最大化

キューピー重量限界

日用品メーカー容量限界



積載量の黄金比率で輸送回数削減

商慣習と業務プロセス見直し

ドライバーにやさしい、効率化・省力化

納品先へ
出荷情報を提供荷受け時の
検品が省略

トラック待機時間の短縮 (2時間/回)

発注～納品まで
リードタイム延長配送物量調整
による平準化

配送ロット安定でトラック不足緩和

配送能力15%UP、上昇が続く物流費の抑制にも寄与

世界の食卓を豊かにする“グローバルブランド”として展開

ブランド育成を見据えた
プロモーション



テレビCM



Voice Media

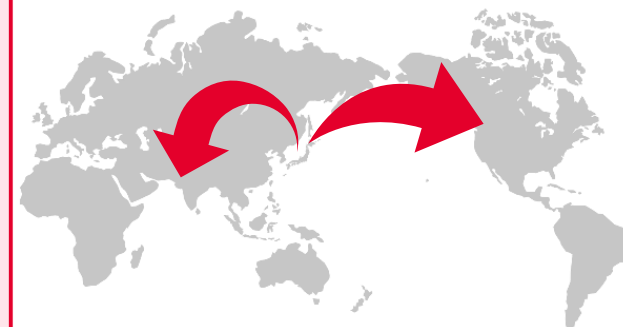
ブランド認知率21%
(2024年7月時点/当社調べ)

環境にも未来の食生活にも持続可能である
食べ物の新しいジャンル

GREEN KEWPIE 
coming from field

“サステナブルな食”

プラントベースを
世界に広げる



アジアパシフィックや
北米で展開予定

商品ラインナップ^o拡充



売上100億円をめざす

未来に向けて社会価値を創出する取り組みを推進

資源の有効活用・循環 プラスチック

プラスチックの 資源循環をめざして

マヨネーズボトルおよび
油付きPETボトルの資源循環に
向けて協働を開始



味の素
株式会社
と協働

日清オイリオグループ
株式会社
と協働

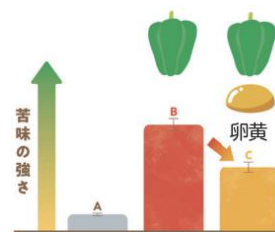
食と健康

サラダで 野菜摂取を応援

マヨネーズや深煎りごまドレッシングに
含まれる卵黄タンパク質で
ピーマンの苦味抑制を示唆



サラダの新たな魅力を
積極的に伝える
取り組み



苦みの強さを**3割低減**

出展：大上ら、日本農芸化学学会
2024年度大会学会発表より一部改変

気候変動への対応

新たな再生可能エネルギー 導入に向けて

陸上・洋上風力発電などの
使用検討を進める



陸上風力発電
(イメージ)



洋上風力発電
(イメージ)

グローバル

さらなる成長への
布石を打つ

人的資本

サステナビリティ

ブランド

ITデジタル

研究/技術開発

経済価値

社会価値

愛は食卓にある。



4. 参考資料

(単位：億円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	前年差	増減率	2024年度計画		
					計画	前年差	増減率
市販用	872	924	+51	+6%	1,846	+72	+4%
調味料	366	388	+21	+6%	770	+29	+4%
惣菜	305	325	+20	+7%	650	+29	+5%
カット野菜	128	135	+6	+5%	275	+10	+4%
その他	73	76	+3	+4%	151	+4	+3%
業務用	814	833	+18	+2%	1,725	+72	+4%
調味料	242	259	+17	+7%	525	+19	+4%
タマゴ	489	491	+2	+0%	1,035	+55	+6%
その他	83	83	△0	△0%	165	△3	△2%
海外	344	437	+93	+27%	931	+148	+19%
中国	131	163	+32	+24%	367	+52	+16%
東南アジア	103	125	+22	+22%	260	+47	+22%
北米	74	101	+27	+36%	213	+33	+18%
その他	36	48	+12	+32%	91	+17	+23%
フルーツ ソリューション	83	87	+4	+5%	179	+9	+6%
ファインケミカル	57	59	+2	+3%	120	+8	+7%
共通	33	29	△4	△11%	59	△1	△1%
合計	2,204	2,368	+165	+7%	4,860	+309	+7%

※ 海外の前年差には、為替影響(2024年度上期前年差：売上高+27億円、2024年度計画前年差：売上高+70億円)が含まれています。

(単位：億円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	前年差	増減率	2024年度計画		
					計画	前年差	増減率
市販用	44	81	+36	+82%	140	+41	+41%
調味料	26	56	+30	+117%	96	+37	+63%
惣菜	12	19	+7	+61%	33	+7	+29%
カット野菜	3	4	+1	+23%	9	+2	+26%
その他	4	2	△2	△52%	2	△6	△75%
業務用	14	64	+50	+369%	116	+75	+181%
調味料	9	20	+11	+116%	41	+14	+54%
タマゴ	4	39	+35	+926%	70	+58	+478%
その他	0	5	+4	+1,126%	5	+2	+93%
海外	35	74	+40	+114%	140	+37	+36%
中国	7	24	+17	+234%	50	+14	+38%
東南アジア	12	20	+7	+59%	35	+8	+28%
北米	8	18	+10	+126%	36	+10	+39%
その他	7	13	+5	+75%	19	+5	+39%
フルーツ ソリューション	2	1	△1	△27%	1	△2	△69%
ファインケミカル	△1	△2	△1	-	11	+1	+6%
共通	7	6	△1	△16%	11	△1	△9%
全社費用	△32	△36	△3	-	△79	△6	-
合計	68	189	+120	+176%	340	+143	+73%

※ 海外の前年差には、為替影響(2024年度上期前年差：営業利益+4億円、2024年度計画前年差：営業利益+10億円)が含まれています。

(単位：億円)

2024年度 上期

	売上増減に伴う 売上総利益の増減	売上総利益率 の変動	販売促進費・ 広告宣伝費	物流費	その他の販売費・ 一般管理費	前年差
市販用	+11	+34	△0	△2	△6	+36
業務用	+3	+61	△1	△8	△5	+50
海外	+27	+26	△4	△2	△7	+40
フルーツ ソリューション	+1	△2	△0	△0	+0	△1
ファインケミカル	+1	△1	△1	+0	△1	△1
合計	+44	+118	△6	△13	△18	+125

2024年度 計画

	売上増減に伴う 売上総利益の増減	売上総利益率 の変動	販売促進費・ 広告宣伝費	物流費	その他の販売費・ 一般管理費	前年差
市販用	+16	+50	△8	△5	△12	+41
業務用	+15	+79	△2	△13	△4	+75
海外	+46	+26	△12	△5	△18	+37
フルーツ ソリューション	+3	△3	△0	△1	△0	△2
ファインケミカル	+7	+1	△4	△0	△4	+1
合計	+87	+153	△26	△25	△38	+151

2024年度上期			2024年度計画					
			(単位：億円)					
売上増減に伴う売上総利益の増減			+44			+87		
売上高影響	海外での売上伸長	+27	+44	海外での売上伸長	+46	+87		
	市販用の販売増加	+11		市販用の販売増加	+16			
	業務用の販売増加	+3		業務用の販売増加	+15			
売上総利益率の変動			+118			+153		
製造コスト影響	市販用・業務用の生産効率の向上	+5	+10	市販用・業務用の生産効率の向上	+19	+25		
	海外の生産効率の向上	+4		海外の生産効率の向上	+2			
主原料コスト影響	調味料の主原料	+51	+70	調味料の主原料	+74	+104		
	国内鶏卵相場影響	+19		国内鶏卵相場影響	+30			
付加価値品の向上	海外および付加価値品の伸長	+14	+14	海外および付加価値品の伸長	+27	+27		
その他	エネルギー・一般原資材影響	△17	+24	エネルギー・一般原資材影響	△38	△0		
	価格改定効果	+37		価格改定効果	+38			
販売促進費・広告宣伝費			△6			△26		
販売促進費・広告宣伝費	海外の販促活動	△4	△6	海外の販促広告費増	△12	△26		
	ファインケミカルの広告宣伝費	△1		市販用の販促広告費増	△8			
				ファインケミカルの広告宣伝費増	△4			
物流費			△13			△25		
物流費	市販用・業務用・海外の物流費増	△13	△13	市販用・業務用・海外の物流費増	△24	△25		
その他の販売費・一般管理費			△18			△38		
その他販売費・一般管理費	基幹システムの導入に伴う経費、労務費の増加など	△18	△18	労務費の増加、新規取り組み費用など	△38	△38		

(単位：億円)

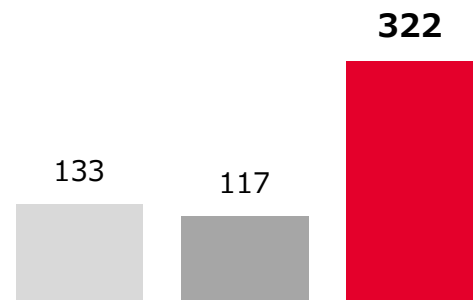
2024年度 上期		2023年度 上期	2024年度 上期	前年差	主な要因
営業利益		68	189	+120	
営業外損益		7	14	+7	<ul style="list-style-type: none"> 受取利息の増加 +1 持分法による投資利益の増加 +4
経常利益		76	203	+128	
特別損益		1	△8	△9	<ul style="list-style-type: none"> 関係会社株式売却益の増加 +1 その他特別利益の減少 △8 減損損失の増加 △2 関係会社株式評価損の増加 △2
税引前利益		77	195	+118	
法人税等 非支配株主に帰属する四半期純利益		29	69	+41	
親会社株主に帰属する四半期純利益		48	125	+77	

2024年度 計画		2023年度	2024年度 計画	前年差	主な要因
営業利益		197	340	+143	
営業外損益		8	21	+13	<ul style="list-style-type: none"> 持分法による投資損益の増減 +17
経常利益		205	361	+156	
特別損益		16	△31	△47	<ul style="list-style-type: none"> 関係会社株式売却益の減少 △28 投資有価証券売却益の減少 △8
税引前利益		221	330	+109	
法人税等 非支配株主に帰属する当期純利益		89	123	+34	
親会社株主に帰属する当期純利益		132	207	+75	

(単位：億円)

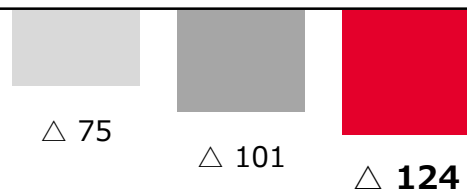


営業キャッシュ・フロー



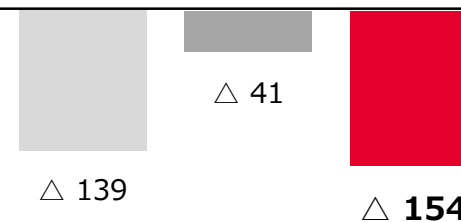
税金等調整前 四半期純利益の増加	前年増減 ↑ +118
棚卸資産の減少	↑ +96

投資キャッシュ・フロー



無形固定資産の 取得による支出の増加	前年増減 ↓ △34
投資有価証券の 取得による支出の減少	↑ +11

財務キャッシュ・フロー



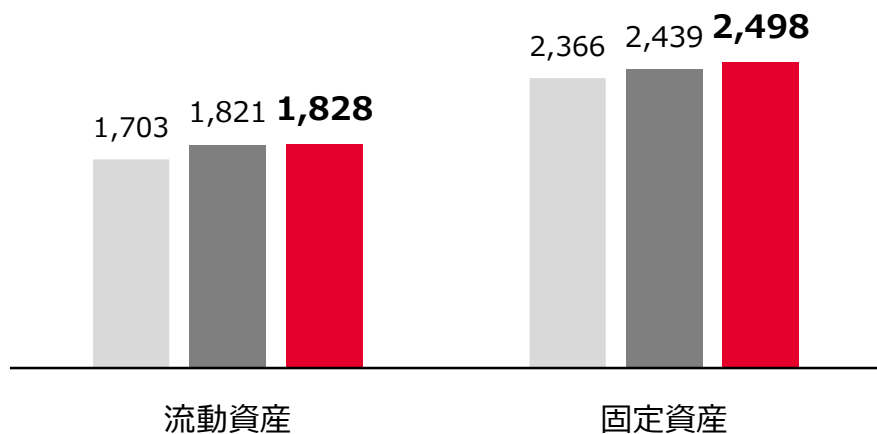
長期借入れによる 収入の増加	前年増減 ↑ +50
長期借入金の 返済による支出の増加	↓ △150

設備投資の状況

2024年度上期 **93**億円 2024年度計画 **207**億円

(単位：億円)

資産の部



前年期末差

流動資産

+7億円

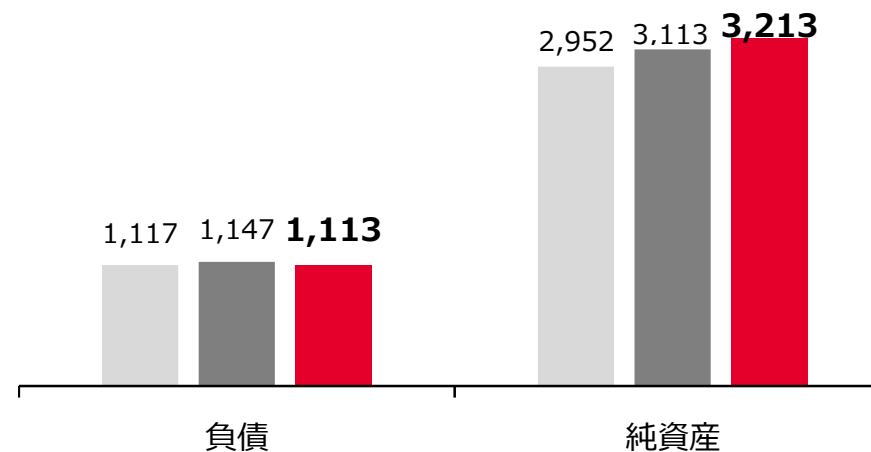
- ・有価証券の増加 \uparrow +55
- ・棚卸資産の減少 \downarrow △45

固定資産

+59億円

- ・建物仮勘定の増加 \uparrow +40
- ・投資有価証券の増加 \uparrow +13
- ・退職給付に係る資産の増加 \uparrow +5

負債・純資産の部



前年期末差

負債

△34億円

- ・短期借入金の減少 \downarrow △150
- ・長期借入金の増加 \uparrow +49
- ・未払法人税等の増加 \uparrow +30
- ・仕入債務の増加 \uparrow +15

純資産

+100億円

- ・利益剰余金の増加 \uparrow +88
- ・その他有価証券評価差額金の増加 \uparrow +7
- ・為替換算調整勘定の増加 \uparrow +7

(単位：億円)

		2022年度 上期	2023年度 上期	2024年度 上期
マヨネーズ	国内	243	274	296
	海外	156	184	231
ドレッシング	国内	182	193	195
	海外	80	92	111
合計	国内	425	467	491
	海外	236	276	343
	計	661	743	834

食と健康への
貢献

健康寿命
延伸への貢献

指標

一人ひとりの食のパートナーとして

- ・1日当たりの野菜摂取量の目標値350gの達成に貢献
- ・たんぱく質の摂取に貢献するために卵の消費量アップを推進



子どもの心と
身体への健康支援

指標

私たちの活動で創る
子どもの笑顔の数
(2019年度からの累計)

2024年度上期
40.5万人

2024年度目標
40万人以上

2030年度目標
100万人以上



資源の
有効活用・循環

食品ロスの
削減・有効活用

指標

食品残さ削減率
(2015年度比)

2024年度上期
60.9%

2024年度目標
50%以上

2030年度目標
65%以上



指標

野菜未利用部
有効活用率
主要野菜：キャベツなど(当年)

2024年度上期
83.7%

2024年度目標
70%以上

2030年度目標
90%以上



指標

商品廃棄量削減率
(2015年度比)

2024年度上期
58.9%

2024年度目標
60%以上

2030年度目標
70%以上



資源の有効活用・循環

プラスチックの削減・再利用

指標

プラスチック排出量削減率
(2018年度比)

2024年度上期
年1回算出

2024年度目標
8%以上

2030年度目標
30%以上



水資源の持続的利用

指標

水使用量（原単位）削減率
(2020年度比)

2024年度上期
8.6%

2024年度目標
3%以上

2030年度目標
10%以上



気候変動への対応

CO₂排出量の削減

指標

CO₂排出量削減率
(2013年度比)

2024年度上期
36.0%

2024年度目標
30%以上

2030年度目標
50%以上



生物多様性の保全

生物多様性の保全

指標

持続可能な紙の調達率2025年度までに100%
(容器包材、印刷冊子、販促物、事務用品)



持続可能な調達

持続可能な調達の推進

指標

お取引先との協働によって「持続可能な調達のための基本方針」を推進



人権の尊重

人権の尊重

指標

ビジネスに関わるすべての人の人権を尊重するために「キューピーグループ 人権方針」を推進



この説明会資料に掲載されている、キューピー株式会社の業績見通し等の将来に関する記述は、当社がその時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等によってこれらと異なる結果になる場合があります。

当社が開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関するご決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

万一これら情報の利用者が何らかの損害を被ったとしても、当社および当社の情報提供者は一切責任を負いません。

《お問い合わせ先》

キューピー株式会社 経営企画部株式IRチーム
TEL : 03-3486-3331